

幼児だより 3月号

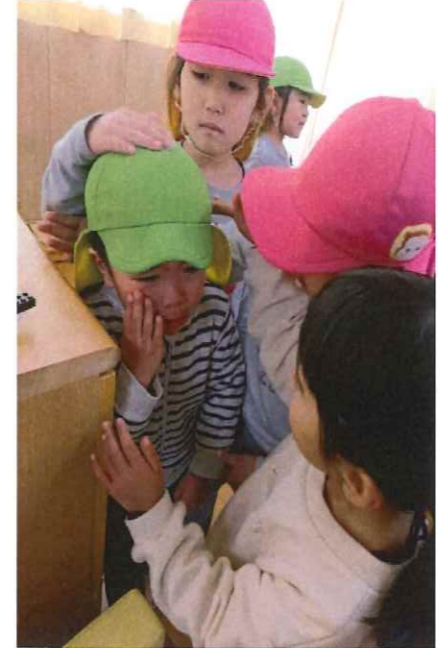


節分

「ぺんぎんさんをビックリさせるぞ!」とお面作り。個性いっぱいの素敵なお面がたくさん出来ました🐼
1つだけでなく、何個も作る子も。豆まきの際には、袋に開けた穴から前を見て、ぺんぎん・かめさんを見つけると「わー」と言って脅かしていましたよ。



その日の給食前、戸外から入室すると・・・部屋の中には鬼がいました!!!
豆を必死に投げる子ども達、中には泣いてしまう子もいましたが「大丈夫」と優しく声をかけあう姿が素敵でした🍡



生活発表会

普段子どもたちが何に興味を持ち、遊びに繋がっているかを発見し、それになりきって見ない?と声を掛けました。

取り組みに対しても毎回、楽しむ姿が見られ、興味をそのまま発表会に繋げることが出来、当日も楽しむ姿が見られていました。終わってから、翌日以降も「もうしないの?」「音楽かけて」と楽しむ子どももいました。

素材が違っただけでも

園庭に置いてある筒が、幼児クラスのちょっとしたブームです。積み上げたり、中に土を入れて大きな型抜きとして使ったりと、遊び方は子どもによって様々。今回はMくんの遊びを紹介します。



砂場でせっせと山を作るMくん。Rちゃん、Yちゃんも一緒です。よく見ると中に筒が埋まっていたトンネルのようになっていました。この日のトンネルは2段になっていました。最初は上も下もトンネルは同じ向きだったのですが、遊びの中で上と下がクロスするトンネルになりました。

山を大きくしたので下のトンネルは2つの筒を繋げてながくしてあります。

黄色の隣に緑のトンネルも作りましたが、山のてっぺんが狭かったのか、トンネルが落ちてしまいました。

それを見て、Mくんは何かいい考えを思いついたようで、一生懸命作り直します。



「くずれちゃった…」



トンネルをどけて、



土をかぶせて、



平らに、平らに…

お砂場の方で「わぁー！」と嬉しそうな声がしたので見に行くと、出来上がっていたのが、こちら！



の道、ここ(上)は電車」と完成したトンネルの説明をしてくれました。

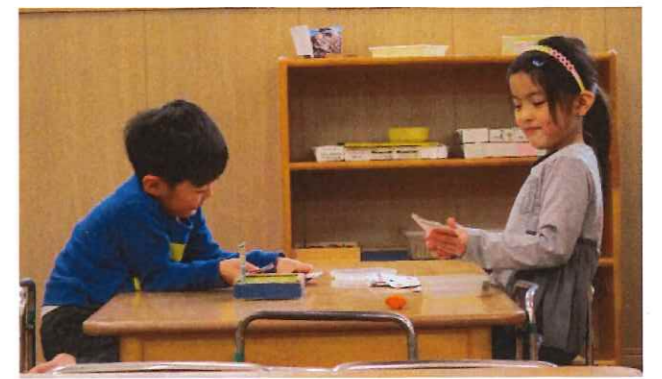
崩れる前は同じ高さだったのに砂を盛ったことによって高さが変わったことが、一緒に遊んでいたRちゃん・Yちゃんにはとても魅力的だったようで、「これ、Mくんがしたんだよー！」と一番初めに教えてくれました。Mくんも「こっち(下)は車

Mくんは園では町を作るのを楽しんでいて、お家では自分で組み立てた線路を弟のrくんと一緒に電車を走らせながら遊んでいるそうです。ある程度形の決まっている積み木やレールを組み立てる経験をたくさんしたからこそ、今回のように砂を使って一から山やトンネルを作ること、高さを変えることを思いついたのだと思います。道を作るという点では同じ遊びですが、素材が違くと表現の仕方も違ってきます。色々な素材に触れることで表現の幅が広がっているなと感じました。

勝っても負けてもたのしい！

トランプやすごろくなど、ルールのある遊びを楽しめるようになってきた子ども達。初めは大人と一緒に楽しむ子が多かったのですが、最近では子ども達だけで遊びを進めるようになってきました。

5歳児のHちゃんと3歳児のhくんがトランプで「スピード」をしています。内容はUNOのトランプ版で、自分の手札が早くなくなった方の勝ち。まさにスピード勝負です。



今回はHちゃんが勝ちました。嬉しそうなHちゃん。負けず嫌いのhくんはちょっと悔しそうです。

でも、そこで「もうやめた！」とはならず

hくん「なーなー。つぎ、ババぬきな。」

Hちゃん「いいよ。」

と、穏やかな様子で次の遊びの準備を始めます。

カードを配るのはHちゃん役目だったようです。もう何度も遊んでいるからサッサと2等分にしています。

カードを分け終わったあとHちゃんは机の下へ。



Hちゃん、机の下でカードを広げてペアを探していました。

hくんは机の上で同じようにカードを広げてペアを探しています。

お互いの手持ちのカードが見えないようにする工夫ですね。



hくんは何に気付いたのでしょうか。ペア探しのときからとても楽しそうです。

ババ抜き後も、7並べ・ドミノ繋ぎと2人の遊びはどんどん続いていきました。

遊びの中で、

hくん「ちょっとまって、
なんでハートのところに
スペードがあんのん！」

Hちゃん「ああ、そっか。」という会話がありました。

この、お友だちの言葉を受け入れる「ああ、そっか。」が大事だと感じました。勝っても大げさに喜ばず、勝ち負けを意識させない振る舞いをしていたHちゃんとだからこそ、hくんも勝ちたい気持ちを上手に遊びの中で表現できたのでしょう。

2人の遊びをいつまでもこっそりみていたい1場面でした。



子どもは発見！！大人は再確認！！

①



くじら組さんと武田尾廃線ハイクに行きました。
懐中電灯なしで歩いてみよう！！と、いうことになり、ドキドキしながら真っ暗なトンネルの中へ・・・

②



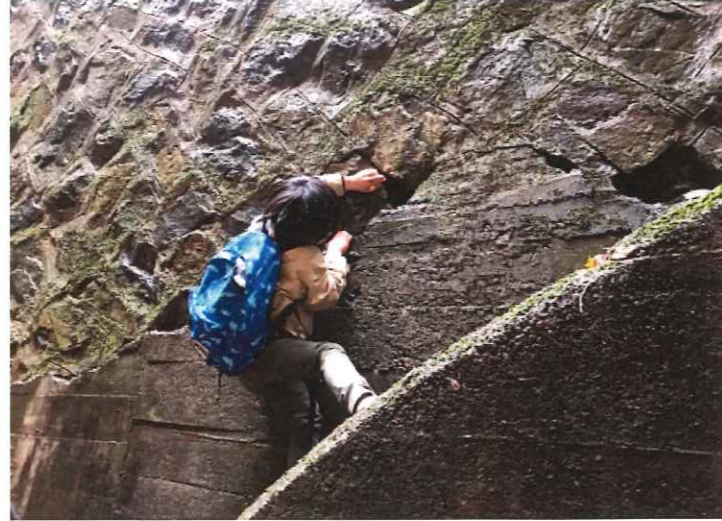
真っ暗なトンネルの中を、歩くだけで精一杯の子が多い中、R君はトンネルの中に”窪み”を発見。お友だちや保育士に教えてくれました。

③



岩場から、滴り落ちて来る雨水を見つけて手をのばして触ったり・・・飲んでみようとしたり・・・

④



石段を発見したR君は、楽しそう！と思いき必死によじ登り、他のお友だちが行けなかった所まで登って、とても満足そうにおりてきました。

自然体験の中で、豊かな自然と触れ合ったり、関わったり、子ども達は、どんな遊びができるのかを考え、発想力や想像力を養い様々な力を育むことができることを再確認しました。

雨の次の日の遊び方

雨が降った次の日、ブランコには水溜りが、、、水溜りを埋めたい！！園庭に道具を取りに行きます。

MちゃんとSちゃんが土を運ぶ係

Hちゃんは水溜りを埋める係に分かれて始まりました。



行動1
土をならして埋める



最後まで埋めることは出来なかったのですが、協力し合い1つの事をみんなで取りくみ「明日もしようね」と約束し合う姿も見られました☆



行動2
一度にたくさんの土を運ぶ為、バケツに入れた土を押しつぶし隙間を無くしていく



行動3
バケツいっぱい重い土を運ぶ時にスコップを持ちきれなかった子の分のスコップを持っていくMちゃん

